

TOPICS 1 社会医療法人ペガサス 1DAYインターンシップ

好評の「1DAYインターンシップ」を 今夏も開催しています！

社会医療法人ペガサスでは、令和5年度から、地域の高校生向けに「1DAYインターンシップ」を開始しました。このプログラムは、看護師やリハビリテーション、保育士など、さまざまな職種を体験できる貴重な機会です。令和5年度には200名以上の高校生が参加し大変好評でした。今年も令和6年7月22日から8月31日までの期間に開催しています。当日はランチ付きで、参加者は楽しく医療業界について学ぶことができます。高校生の皆さん、ぜひこの機会にご参加ください。

●お問い合わせ/TEL 072-265-9089 (担当:人事課/情報通信推進室)

TOPICS 2 馬場記念病院 多職種企業研究会

2026年度卒対象の企業研究会を 開催しています。

馬場記念病院では、2024年7月から9月の期間限定で全職種対象の企業研究会を開催しています。この企業研究会は、すべての職種を対象としており、夏休みを利用して企業研究をしたい方におすすめです。自分の目指す職種について先輩から話を聞いてみたい方、働いてからの資格取得サポートや福利厚生について知りたい方、チーム医療の実際を知りたい方など、ぜひこの機会に参加して、馬場記念病院の魅力を体験してください。

開催日程：8/29(木)、9/6(金)、9/16(木)
開催時間：9時～17時
開催場所：馬場記念病院

お申し込み

Googleフォームからお申し込み
ください。

※既卒、社会人、対象年度以外の方も予約可能



●お問い合わせ/TEL 072-265-9089
メール honbugp@gmail.com (担当:人事課)

PEGASUS NEWS



ペガサスニュース

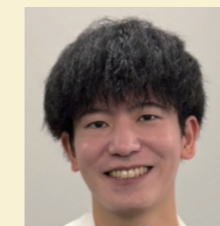
発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
https://www.pegasus.or.jp/
編集/ペガサス広報委員会
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和6年8月20日

Vol.112

救急部 副部長 / 就任のご挨拶

柴田医師、長岡医師が、当院救急部の副部長に就任。 新体制で救急医療を支えます。

馬場記念病院は、地域の多くの皆さまに『救急の馬場』と親しまれており、長年にわたり堺市およびその近隣地域の救急医療を支え続けてきました。救急部では、救急搬送された患者さまや、時間外に来院された急病・外傷の患者さまの初期診療および治療を主に担当しています。このたび、救急部に新たな副部長として柴田医師と長岡医師が就任いたしましたので、医師のメッセージを添えて紹介します。



整形外科専門医として
外傷を担当。
不安や痛みを迅速に
取り除きます。

整形外科
柴田 将伍

2024年7月から当院の救急部副部長に就任しました。日本整形外科学会整形外科専門医として外傷を主に担当しています。当院には転倒してしまったり、何かにぶつけてしまったりしてたくさんの患者さまが救急車で運ばれてきます。やはり搬送時には痛みをすごく訴えられ、また骨折したりしていないだろうかと不安になっている方が多いと思います。私自身も子供の時に交通事故に遭ったことがあるのでその気持ちはすごくわかりますし、その時の経験が現在の私の救急診療の礎になっています。診断することでまずは不安を、そして治療を始めることで痛みを、なるべく迅速に取り除けるような救急医療を提供できるように、スタッフと協力・連携して頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



脳神経外科専門医として
迅速に対応。
地域ニーズに応える医療を
目指します。

脳神経外科
長岡 慎太郎

2024年7月から救急部副部長に就任しました。私は日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、脳血栓回収療法実施医として当院の救急に携わっています。地域の皆さまにとっての馬場記念病院の役割は、主に救急医療と考えております。1分1秒を争う脳神経外科疾患の患者さまを脳卒中ホットライン用いて、治療までの時間短縮を図り、助けられる疾患を増やしていきます。地域の皆さまのニーズにお応え出来るように24時間365日常に救急の受け入れを目指していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



介護支援専門員・相談援助職・介護従事者向け ペガサス リモート セミナー 参加費無料

認知症者の家族支援

●講師：社会医療法人ペガサス馬場記念病院
認知症看護認定看護師課程修了者
高橋良美

●開催日：2024年9月12日(木) 16時～17時
●申込期限：2024年9月4日(水)
※内容、開催日等は変更になる可能性があります。

●お問い合わせ/
ペガサスケアプランセンター雅老園
072-245-8801 (吉田まで)
r-yoshida-cpc@pegasus.or.jp
お申し込みはQRコードから▶



ペガサス健診センター からのご案内

健診の仮予約がWEBで可能になりました！

※WEBでの予約はあくまでも仮予約となります。

お問い合わせ/072-265-6006 ▶仮予約はこちらから



ペガサスグループ 株式会社ユニコ

ユニコ 英会話教室

●幼児クラス...月額2,600円
水曜/16:00~16:40
●小学生クラス...月額3,000円
水曜/17:00~17:50

外国人講師もいて
楽しく本格的レッスン

●お問い合わせ
TEL:072-263-3001

https://www.unico-pg.com/

詳しくは
QRコードから▶

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃
D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ/馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Instagram
baba.memorial.hospital



ペガサスマンモサデー

開催予定

【開催日】(予定)

9/1(日)

【開催時間】

9時～16時

【お問い合わせ】

TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)

病院機能評価を受審

質の高い医療サービス提供をめざし、第三者の評価審査に挑戦。

6回目の
病院機能評価を
受審

馬場記念病院は、令和6年5月30日、31日に病院機能評価を更新しました。

病院機能評価とは、公益財団法人日本医療機能評価機構が中立的・科学的な立場で、病院の医療機能を評価。

医療の質・安全の向上と信頼できる医療の確保をめざし、平成8年（1996年）に開始されました。

認定期間は5年、当院は平成11年（1999年）に初の受審。以来、認定を更新し続け、今回で6回目となります。

◆ 高評価をいただいた当院の取組みをご紹介します ◆

1. 多職種連携について

医師がリーダーとなり多職種のチーム医療を実践しています。入院日翌日に、患者さま全員に対して多職種カンファレンスを行い、治療の根幹部分において高い能力を持った多種多様な専門職種が目的と情報を共有しています。業務を分担するとともに転倒転落防止策や退院時期の決定など互いに連携・補完しあい、充分な質の高い医療サービスを提供しています。

2. 地域への取組みについて

地域に向けた取組みとしては特にリハビリスタッフとリハ科の医師を中心に行っている「嚥下の外来（食のQOL）」が評価され、嚥下の機能がさまざまな原因で低下した患者さまに「食べる楽しさを継続していただけるように」、「たとえ一口でも自分の口で食べる事ができるように」一人ひとりに対して説明と指導を行っています。



3. 就労支援について

障がいをお持ちの方は就労してからの離職率が高いことが課題です。辞める理由の上位には「障がいを理解してもらえない、仕事内容が合わない」などが挙げられますが、当院では働くまでの過程をサポートしていること、馬場記念病院に就職後はリハスタッフを中心に日々の業務の中でできる事を当該所属長に伝える等、サポートを継続することでその方にあった働き方の実現に繋がっています。

4. 当院独自の学会について

当院独自の学会を毎年開催しています。実際に学会開催までの道のりは長く、時間と労力を要しますが、地域へ高度なリハビリ技術を提供するために欠かさず取り組んでいます。最新の情報を発表し、または聴講し日々の診療に生かしています。



5. 在宅医療～終末期について

患者さま、ご家族の不安を取り除くために24時間対応は非常に重要であり、確実な連絡体制を確保していることが評価されました。人生の最期まで病院で過ごす最大のメリットは、医師や看護師をはじめとする医療従事者が24時間365日そばにいて、何かあった際にも即対応できることですが、自宅で迎えたいと思っている患者さまやご家族の希望も少なくありません。実際に退院することが難しい、自宅で過ごす事に不安を感じている患者さまには当法人で運営しているサ高住に入居いただき、少しでも自宅に近い環境で過ごせる場を提供しています。

6. 医療機器管理について

医療機器管理室では専属の臨床工学技士により生命維持管理装置を中心に院内で使用される機器の保守管理と臨床現場への医療機器に対する技術を提供しています。また医療機器の安全使用のために当院独自の認定制度を設け、機器に関わる医療者には取得を義務付け、医療機器を適切に運用しています。大切な命を預かる医療者として常に万全な医療機器の体制を整えています。

7. 栄養管理について

NST（栄養サポートチーム）では病院長自ら指揮をとり、栄養部を始めとする薬剤師や看護師等多職種が連携し病気や手術のために十分な食事が取れない患者さまに最も適切な栄養管理を行なっています。また病院では外部委託給食がスタンダードですが、当院では5年前より直営給食をスタートし、患者さまへ地産地消の食材の提供ができるように心がけています。入院時の栄養管理だけでなく、栄養部が発信するクックパッドには嚥下調整食や治療食のレシピを投稿し退院後のフォローアップにも繋がっています。

8. 医師、看護師の連携体制について

医療の高度化や多様化する患者さまのニーズに答えるためには、多職種連携を強化しチーム医療を推進することが重要です。2024年度から「医師の働き方改革」に伴い、臨床工学技士が手術の介助者となったり、救急救命士が救急外来で医療行為を行うなど、病院内でのタスクシフトが行われています。なかでも、特定行為看護師によるタスクシフトは、重要な役割を果たしています。特定行為看護師の活躍によって、早期診断や患者さまの負担軽減につながっています。当院は特定行為看護師実習施設であり、働きながら特定行為看護師の資格を取得することができます。看護師のキャリア支援の一つとして、特定行為看護師の取得を促進しています。

この5年間の積み重ねは、当院の強みとなっています。そこに受審の意味・目的があると考えています。まだ足りない点も改めて感じ、患者さまやご家族の希望を叶えたい一心で、これからもチームベガスとして医療者全員が努力を重ねてまいります。



C O L U M N

マイナンバーカードを、健康保険証としてお使いですか？！

詳しくはこちら▼ https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html

令和3年3月から、マイナンバーカードが健康保険証として使えるようになっています。皆さまには、すでにご活用なさっていますか？事前に利用登録さえすれば、医療機関や薬局で使えるだけでなく、さまざまなメリットがあります。現行の健康保険証は、令和6年12月2日に廃止されます。登録がまだの方はご注意ください。

通院でも、その他の場面でも、便利です！

- より良い医療が受けられる
- 自分の医療情報が確認できる
- 窓口で限度額以上の支払い不要
- 確定申告の医療費控除が簡単

